



# JCS NEWS

日本チェロ協会会報 第40号 (2013年9月26日)

## ジャン=ギアン・ケラス チェロ公開マスタークラス 11月にサントリーホール・ブルーローズで開催

11月20日、ジャン=ギアン・ケラス先生をお招きしてチェロ公開マスタークラスをサントリーホール・ブルーローズ(小ホール)で開催します。ケラス先生には2005年10月にもお越し頂きましたが、会場の都合上定員30名であったため、多くの皆さまにご参加頂けませんでした。今年はブルーローズ(小ホール)で開催いたしますので、お誘い合わせの上、奮ってご参加下さい。非会員の方もご参加頂けます。受講生・曲目が決定いたしましたら、随時ホームページで公開いたします。



ジャン=ギアン・ケラス先生  
©Marco Borggreve

### マスタークラス 概要

日時: 2013年11月20日(水)  
19:00開講(18:45開場)  
場所: サントリーホール・ブルーローズ(小ホール)  
入場料: 会員/無料 非会員/1,000円  
申込方法: 参加申込書、または氏名、住所、電話番号、メールアドレスをお書き添えの上、FAXまたはE-mailで事務局までお送りください。  
お申込後に入場券(ハガキ)を郵送します。当日必ずご持参下さい。非会員の方は、当日受付にて入場料をお支払頂きます。  
●受講者の申込は締め切らせて頂きました。沢山のご応募誠にありがとうございました。  
●聴講申込締切: 2013年11月13日(水)

### チェロサロンも11月に開催 — 斎藤建寛先生を囲んで —



斎藤建寛先生

11月16日(土)、斎藤建寛先生主宰チェロサロンをサントリーホール・リハーサル室で開催します。今回のテーマは「楽器を身体の一部にするには？」です。演奏技術を高めたい方、さらにステップアップを図りたい方、チェロの輪を広げたい方、奮ってご参加下さい。

※申込締切を11月1日とさせて頂いておりましたが、これまでの申込状況により、締切日を変更させて頂きます。尚、申込者多数の場合は、会場の広さの都合上、申し訳ありませんが参加をお断りする場合がございます。

- クリニック・アンサンブル申込締切: 2013年10月10日(木)
- 聴講申込締切: 2013年11月1日(金)

### チェロサロン 概要

日時: 2013年11月16日(土)  
14:00開講(13:30開場)  
場所: サントリーホール・リハーサル室  
会費: 会員/無料 非会員/1,000円  
定員: 25名(+聴講10名で計35名)  
申込方法: 参加申込書、または氏名、電話番号、メールアドレス、参加希望内容(クリニック受講・アンサンブル参加・聴講)をお書き添えの上、FAXまたはE-mailで事務局までお送りください。  
非会員の方には、当日受付にて参加費をお支払頂きます。

### 第4回チェロの日開催決定

次回チェロの日は2014年2月8日~9日の2日間です。

#### ●チェリストの集い参加者募集について

お陰様で今回の“チェリストの集い”参加申込は7月30日を持ちまして締め切らせて頂きました。沢山のお申込、誠にありがとうございました。(2頁へ続く)

### JCS NEWS 第40号 コンテンツ

- 1 2013年度協会主催の催し
- 2 第4回チェロの日の魅力
- 3 チェロ協会2012年度活動報告・2013年度予算
- 4 Cellists' update
- 5 Cellists' update
- 6 会員出演・主催コンサート情報/メンバーズ
- 7 [追悼]ヤーノシュ・シュタルケル氏
- 8 事務局からのお知らせ

# 第4回チェロの日開催決定

## 来年2月サントリーホールにて2日間開催

(1頁から続く)

日本チェロ協会は、第4回チェロの日を2014年2月8日(土)～9日(日)の2日間で開催します。8日に開催される「チェロ・ソロ・コンサート」には、4名のチェロ奏者が出演。成長著しい若手の瑞々しい演奏から、円熟したベテランの魅力的な演奏をお楽しみください。9日午後には「チェロ・アンサンブル・コンサート」を開催。チェロ・オーケストラ(チェロオケ)の演奏や、若手チェロ奏者を中心としたチェロ・アンサンブルをお届けします。

チェロオケを構成するのは「チェリストの集い」に参加する会員の皆さん約50名! 前年に引き続き、今年も山本祐ノ介さんによる指導・指揮の下、賛歌(クレンゲル)やブラジル風バツハ第1番(ヴィラ=ロボス)などを演奏します。既に有志によるチェロオケの自主練習は始まっていて、2月の演奏が楽しみです。

「チェリストの集い」は既に参加者を締め切りましたが、各コンサートのチケット発売はこれからです。また、会員の皆様はお得な会員価格でチケットをお求め頂けます(ご友人分なども併せてお申し込み頂けます)。チェロ協会ならではのプログラム、ぜひサントリーホールまで足をお運びください。

また、8日(土)の夜には、チェロ協会の懇親会を開

催します。「チェリストの集い」に参加されない会員の方もご出席頂けます。評議委員の先生方やコンサート出演メンバーの皆様にもご参加頂けるよう準備していますので、奮ってご参加ください!

## チェロオケの聴き所は?

### 自主練習の企画者・参加者たちに聞く

ーチェロオケ演奏の聴き所はどこでしょう?

参加者の大半がアマチュアであり、特別に上手な人ばかりではないので、半年間かけて何度も練習を重ねて本番に臨みます。一夜漬けではない、聴く人の心に響く演奏ができると思います。

ープログラムの特徴は?

それぞれ曲想の異なる、また同じ調ではない曲が選ばれています。曲自体が素晴らしいこともあり、十分に楽しめると思います。

ーチェロオケの醍醐味とは何でしょう?

今回の曲は、パート数が全て異なります。弦楽四重奏なら必ず4パートだし、弦楽オーケストラでもこのような柔軟性はありません。チェロオケだから可能なパート割です。聴いていても全く違和感はないでしょう。一体感のある音楽を楽しめると思います。

## 第4回チェロの日 概要

2014年2月8日(土)～9日(日) 会場:サントリーホール(東京都港区)

1日目:2月8日(土) チェロ・ソロ・コンサート / 懇親会

2日目:2月9日(日) チェロ・アンサンブル・コンサート

### ●チェロ・ソロ・コンサート

日付:2014年2月8日(土)

時間:開場 13:30 開演 14:00 終演予定 16:30

出演:倉田澄子・河野文昭・門脇大樹・伊東裕

曲目:フォーレ/ソナタ 第一番 Op.109 他

料金:会員 ¥3,500 学生 ¥2,500 当日 ¥4,500

### ●チェロ・アンサンブル・コンサート

日時:2014年2月9日(日)

時間:開場 13:30 開演 14:00 終演予定 16:30

出演:Paulownia Cello Quartet

チェリストの集いメンバー

曲目:ブラジル風バツハ第1番(ヴィラ=ロボス)、他

料金:会員 ¥3,000 学生 ¥2,000 当日 ¥4,000

### ●チケットお申し込み

チェロの日ウェブサイトから、または同封のチケット申込書をチェロ協会宛にFAXまたはメールにてお送りの上お申し込みください。なお、チケットお申し込みの受付は10月中を予定しております。

【ウェブ】 <http://celloday.cello-congress.com/>

【FAX】 03-3582-1310

【メール】 [office@cello.gr.jp](mailto:office@cello.gr.jp)

# チェロ協会2012年度活動報告

## 【総会・評議委員会開催】

### ◇第8回総会

日時：8月29日18:00～

於：サントリーホール・M2会議室

参加者：評議員7名、会員6名、事務局4名

### ◇評議委員会

6月28日、12月23日（サントリーホール・M2会議室）

## 【JCS News会報発行】

年2回発行（2012年8月31日、2013年3月31日）

## 【ホームページ運営】

コンサート情報24件、イベント・その他情報11件掲載

## 【2012年度会員名簿発行】

同意書受取数：165通

発行・発送日：2013年4月30日

## 【協会主催イベント】

### ◇マスタークラス

開催日：10月30日（火）

於：サントリーホール ブルーローズ

講師：タチアナ・ヴァシリエヴァ先生

受講生：3名

お客様：43名（会員：30名、非会員13名）

### ◇第3回チェロの日

開催日：2月9日（土）～11日（祝・月）

於：サントリーホール ブルーローズ

<1日目>チェロ・ソロ・コンサート

来場者数：150名

<2日目>第1回ジュニア・チェロ・キャンプ

来場者数：89名（+参加者26名）

<3日目>チェロ・アンサンブル・コンサート

来場者数：223名

チェロ・オケ参加者：70名（+出演者7名）

## 【会員数】

正会員：207名 学生会員：45名 賛助会員：4団体  
（2013年3月）

資料添付：2012年度決算報告 2013年度予算

※会計監査の結果、過年度（2011年度）に費用仕訳上の誤りが有りましたので、2012年度報告書の前年繰越金額を修正致しました。

## 【収入の部】

## 日本チェロ協会 2012年度決算・2013年度予算

2013年3月31日

(単位：円)

項目	2012年度予算額	2012年度決算額	2013年度予算額	摘要
会費	3,750,000	3,299,000	3,682,000	会費収入:3652000 入会金収入:30000
入場券	100,000	13,000	50,000	マスタークラス:30000 チェロサロン:20000
チェロの日	2,695,000	2,225,200	2,417,625	
雑収入		11,632	-	
小計	6,545,000	5,548,832	6,149,625	
前年度繰越金	2,389,181	2,389,181	1,078,698	
計	8,934,181	7,938,013	7,228,323	

## 【支出の部】

(単位：円)

項目	2012年度予算額	2012年度決算額	2013年度予算額	摘要
会報作成費	400,000	287,500	400,000	131,250円×3回(第40～42号)
通信費	270,000	372,029	350,000	会員証、会報、イベントチラシ等発送
便箋・封筒等の制作費	110,000	25,200	30,000	封筒制作費
総会・評議委員会経費	100,000	64,680	80,000	評議委員会交通費、軽食代
事務諸経費	1,823,000	1,600,609	1,820,000	事務局人件費、他
事業費	400,000	505,543	574,000	マスタークラス(会場費・謝礼)1回:424,000 チェロサロン(会場費)1～2回:100,000 交通費:50000
ホームページ運営費	300,000	252,000	252,000	HPメンテナンス21,000円×12ヶ月
雑費		3,600	5,000	
チェロの日	3,142,953	3,748,154	2,895,008	
小計	6,545,953	6,859,315	6,406,008	
次年度への繰越し	2,388,228	1,078,698	822,315	
計	8,934,181	7,938,013	7,228,323	

## 倉田 澄子(R-048) Sumiko KURATA



### 1. 近況を教えてください

本番に向けての練習と生徒さんのレッスンをしています。自宅には“カフェ・スミコ”があって(笑)、色々人生相談なんかもしていますよ。

### 2. 改めてチェロを始めたきっかけを教えてください

小学生の頃にふと父の演奏をSPレコードで聴いたのがきっかけで、その時のチェロの音色に心を動かされた記憶があります。12歳の時、堤清先生に薦められ、斎藤秀雄先生を(チェロを持たずに)お訪ねした事がありました。その場で急に「音階を弾いてみなさい」と言われ、堤剛さんのチェロをお借りして弾きました。すると斎藤先生は「5年預かります」と言われ、レッスンを受ける事になりました。今思うと、5年でチェリストとしての見込みがあるか見て下さるという意味だったのでしょね。

### 3. 4月のリサイタルでは、生誕100年を迎えたお父様(倉田高氏)に想いを捧げる演奏会をなさいました。ご感想はありますか？

素晴らしいパートナーの方々と自由に楽しく弾かせて

頂いてとても感謝しています。父は私が2歳の時に亡くなりましたから、父の生誕100年ということもありますが、同時に現在93歳の母親に対する感謝の気持ちもありました。

### 4. 倉田先生が一番ワクワクするときは、どんなときですか？

「今日はどんな音が出るのかしら？」とチェロを触る時です。そして、望んだ音が出ないと一日中落ち込むほど左右されます。父親の音が心に沁みこんでいたせいか、チェロを始めた子供の頃も好きな音が出てからでないとは宿題の曲を始められませんでした。

### 5. チェロ協会の活動について今後求めるものがあれば教えてください

会員の中にはプロもアマチュアもいらっしゃいますが、プロの方ももう少しチェロ協会のイベント(チェロの日など)を通して広く交流を持つことが出来たらと思います。

#### 【お薦めの演奏会情報】

#### チェロアンサンブル

日時/12月15日(日)14時開演(予定)

場所/府中の森芸術劇場ウィーンホール

問/桐朋学園音楽部門事務局演奏課03-3307-4158

## 猿渡 輔(R-276) Tasuku SARUWATARI

### 1. 近況を教えてください

札幌交響楽団(以後札幌)に来て、もうすぐ5年になります。毎日オーケストラの日常ですが、今年は日本演奏家連盟のオーケストラプロジェクトで札幌とコンチェルトをさせて頂きました。tutti奏者では自分の所属するオーケストラと協演する事はまずないので、とても貴重な経験をさせて頂きました。

### 2. 2011年のチェロ・コンGRESでは、同じ札幌の石川祐支さんとともに「オケスタ」をご指導頂きましたが、ご感想はありますか？

一番印象に残っているのはあの時受講されていた方々の「目」です。限られた時間で何とか物にしようする姿に、皆さんの音楽やチェロに対する深い思い入れを感じました。そんな中、皆さんも良く演奏されると思われるベートーベンの運命の第二楽章の運指など、私達が普段しているものを伝えられたのは良かったかなと思います。

### 3. オーケストラでチェリストとして演奏する醍醐味は何ですか？

素晴らしい指揮者やソリストと共演する時、私達の音楽がどんどん引き出され、しかもそれが濃縮し得も言えぬ素晴らしい瞬間の音があります。その瞬間を味わえる

のはオーケストラだけです。

### 4. 札幌以外での演奏活動はありますか？

私は室内楽も好きなので、よく札幌のメンバーと組んで四重奏や三重奏など、オーケストラの合間に定期的にコンサートを行っています。2歳になる



息子がいるのですが、子供が産まれたことがきっかけで子供の為のコンサートや、絵本作家とのコンサートの企画などにも力を入れるようになりました。

#### 【演奏会情報】

#### ホクレンクラシックスペシャル

札幌交響楽団東京公演2014

日時/2014年3月5日(水)19時開演

場所/サントリーホール

問/札幌交響楽団事務局011-520-1771

## 鎌田 茉莉子(S-059) Mariko KAMATA

### 1. 近況や最近の活動を教えてください

6月にカルミナ・クアルテットと共演、7月末にリサイタル、8月はオーケストラや室内楽を中心に活動していました。

### 2. 鎌田さんはチェロ協会主催のマスタークラスなども過去に受講されました。改めて振り返って、マスタークラスの意義や成果などがあれば教えてください

マスタークラスは、随分と前ですがジャン・ギアン・ケラス氏、ルイス・クラレット氏のレッスンを受けました。身体の使い方次第によって深みのある音が出せたり、様々な種類の音色を作ることができるということを教えていただきました。また、先生のお国の音楽を習うということは、大変意味があったと思います。

### 3. 鎌田さんの好きな食べ物やリラックスできる趣味はありますか？

好きな食べ物は、鳥の唐揚げ、カレー、二郎仙川店(ラーメンのお店)です。風通しの良い部屋でボンヤリすることが大好きです(本当に何もしません)。

### 4. 差し支えなければ、今後どのようなチェリストとして活躍していきたいか教えてください

今後は、自分にしか出せない音色を研究して、その結果としてお客様に喜んでいただけたら何よりです。人前

で演奏することが大好きなので、いつまでもその幸せな気持ちを大事にしていきたいと思います。

### 5. 重点的に取り組んでいる活動・曲目・作曲家などがあれば教えてください

室内楽です。去年からサントリーホール室内楽アカデミー第二期生としてお世話になっています。室内楽の中でのチェロの役割、どのような音楽の方向性を作っていくか、メンバーと話し合うことがとても楽しいです。音程の取り方など自分の癖についてもメンバーや先生方にご指導いただけるので、本当に勉強になります。



#### [演奏会情報]

#### \* Chamber Music Concert~

#### 若手演奏家による室内楽の夕べ~\*

日時/10月31日(木) 19時開演

場所/横浜市緑区民文化センター「みどりアートパーク」

問/090-5568-4406(北見)

## 北村 陽(S-105) Yo KITAMURA



### 1. 近況を教えてください

今年5月に伊丹シティフィルハーモニー管弦楽団と初めてコンチェルトをしました。昨年入団した兵庫県立芸術文化センターの「佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラ」(最年少で入団)では、8月2日より東日本大震災の被災地を訪問して演奏会をしました。

8月28日には、藤岡幸夫さんの指揮で、関西フィルハーモニー管弦楽団と協演しました。

### 2. 協演された時のご感想は？

本番は出る前に緊張したけれど、舞台に出たらス〜と緊張がなくなって、オケの演奏がとっても気持ちよくて、すごく楽しく弾けました。演奏中に何度も藤岡さんと目が合って、どんどん気持ちも上がりました。

### 3. ジュニア・チェロ・キャンプ(以後JCC)にご参加頂いたきっかけを教えてください

4歳でチェロを習い始めて、幼稚園の年長でチェロ協会に入会しました。2011年のチェロコンgresで、たくさんのチェリストの演奏を目の前で聴いて、とても楽し

くて、もっともっとチェロが好きになりました。今回のJCCのお知らせがきたときは、すぐに申し込もうと思いました。

### 4. JCCアカデミーの中で印象深い出来事はありましたか？

一番は、山崎伸子先生にレッスンしていただいたことです。ドキドキしたけれど、楽しくて、おもしろくて、あっという間に時間が過ぎました。力まないで弾く方法や、弓の使い方などいろんなことを教えていただきました。倉田先生や堀先生のレッスンも見学できて、アンサンブルの宮田先生もすごくテンションが高くて面白かったです。

### 5. JCC発表会の演奏はどうでしたか？

とても楽しく演奏できました。たくさんの人達に聴いてもらえて嬉しかったです。演奏している時に、山崎先生が聴いてくださっているのが見えて、すごくホッとして、それからもっと演奏に気持ちが入りました。一番最後に音を空高く飛ばそうと思って、弓を高く上げました。そうしたら大きな拍手がもらえたので、やったあ!と思いました。

### 6. 今後、どのようなチェリストになりたいですか？

聴いてくださっている人達と、心がつながる演奏ができるチェリストになりたいです。そして、自分にしかない音を持っているチェリストになりたいです。

## Concert Information

会員の出演・主催する演奏会などをご案内いたします

### 鎌ヶ谷フィルハーモニック管弦楽団第23回定期演奏会

日時／9月29日(日) 14:00開演  
会場／白井市文化会館大ホール  
出演／小久保大輔(Cond) 団員一同  
入場料／無料(全席自由)  
問合せ／鎌ヶ谷フィルハーモニック管弦楽団  
080-5455-4822(加藤)

### 長谷川陽子 無伴奏チェロ・リサイタル

日時／10月23日(水) 19:00開演  
会場／ザ・フェニックスホール  
出演／長谷川陽子(Vc)  
入場料／¥5,000(全席指定)  
問合せ／大阪新音 06-6341-0547

### Chamber Music Concert

#### ～若手演奏家による室内楽の夕べ～

日時／10月31日(木) 19:00開演  
会場／横浜市緑区民文化センター「みどりアートパーク」  
出演／竹花千景(Pf) 北見春菜(Vn) 福崎雄也(Vn)  
高橋梓(Va) 鎌田茉莉子(Vc)  
入場料／一般：¥1,500 学生：¥1,000(全席自由)  
問合せ／090-5568-4406(北見)  
コメント／サントリーホール室内楽アカデミーと一緒に学んでいるメンバーとの演奏です。室内楽の魅力をお客様方に楽しんでいただきたいと思います。

### 林裕チェロ・リサイタル OPA! POPPER

日時／11月3日(日) 14:00開演  
11月8日(金) 19:00開演  
会場／名古屋ザ・コンサートホール(11/3)  
大阪ザ・フェニックスホール(11/8)  
出演／稲垣聡(Pf) 林裕(Vc)  
入場料／一般¥4,000(当日¥4,500)  
学生¥2,000(当日¥2,000)  
問合せ／ユーモレスク 070-6686-4854

### デュオハヤシ フレンドリーコンサート (とっておき室内楽XIV)

日時／11月3日(日) 15:00開演  
会場／ヒルサイドプラザ・ホール[代官山]  
出演／林由香子(Pf) 林俊昭(Vc)  
入場料／¥4,000(全席自由)  
問合せ／079-428-1699(中村)

### 宮田大チェロ・コンサート～第3回ガスパール・カサド 国際チェロ・コンクールin八王子 応援チャリティー・ コンサート～

日時／11月29日(金) 19:00開演  
出演／ジュリアン・ジェルネ(Pf) 宮田大(Vc)  
入場料／ ¥4,500  
問合せ／(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団  
042-621-3005 ※9:00-17:00

コメント／公演の収益の一部はコンクール実行委員会に寄付されます

### ジュディ・ソワ クリスマスコンサート&クリスマスパーティー

日時／12月12日(木) 18:30開演  
会場／日仏文化協会汐留ホール  
出演／レ・クロッシュ 宇宿直彰(Vc) 宇宿真紀子(Pf)  
入場料／コンサート¥2,500  
パーティー ¥1,500(ファンクラブ会員¥1,000)  
問合せ／ヨーロッパアーティスト 050-5531-5156

### チェロアンサンブル

日時／12月15日(日) 14:00開演(予定)  
会場／府中の森芸術劇場ウィーンホール  
出演／桐朋学園チェロ専攻科の学生  
入場料／¥1,000  
問合せ／桐朋学園音楽部門事務局演奏課 03-3307-4158  
コメント／この定期演奏会は当時学生だった、長谷部一郎さんや古川展生さんらと発足しましたが、毎年メンバーも変わりとても素晴らしくなっているので、ぜひ足を運んで欲しいと思います。(倉田澄子)

### ホクレンクラシックスペシャル 札幌交響楽団東京公演2014

日時／2014年3月5日(水) 19:00開演  
会場／サントリーホール  
出演／尾高忠明(Cond)  
問合せ／札幌交響楽団事務局 011-520-1771  
コメント／2015年シベリウス生誕150年に向け、札幌では尾高忠明監督の元シベリウス交響曲全曲録音に取り組んでおり、その第2弾として交響曲2番と4番を演奏する。第1弾のCD「交響曲第1番&第3番」(FOCD-6036 定価¥2,500)は好評発売中

## メンバーズ

### 加藤 美千代 さん(R-108)

普段はどのような活動を? との質問には、晴れた日は庭にいます、雨の日はチェロを弾いています。薔薇も好きなので手入れが欠かせないのですが、チェロの練習も欠かせないです。チェロを初めてにしたのは40代、SQやチェロアンの仲間と小学校や施設でボランティア演奏をした時期もあり、今は一人でも楽しめる無伴奏やピアノとの曲を。夏休み、春休みには家でミニコンサート、これは9回続いています。Vc. Pf. Fl. と中学生のFl. も夫のVo. も。所属は室内楽同好会ファミリーでこの団体の名は「家族」という意味、会員は約82名、月1回の例会はすでに308回を数えています。毎月第3日曜日午後、場所は 東京文化会館4階鑑賞室、北とびありハ室、横浜長浜ホール、スペース弥平、フィリアリハ室等。クリスマスは宴会つきです。毎回演奏するPf. もいますが、例えば、最近は楽譜サイトで検索して知らない曲(Herzogenberg op.62 Va. または Vc.)をVa.で3か月くらいさらって紹介したり、グリンカのVa.とPf.のためのソナタをCl.で吹くといった演奏もあります。本番前の肝試しや発表の機会に、また聴くだけでもどうぞお出てください。ただ、予告されるのは日時、場所だけで、曲目は当日フタを開けてからのお楽しみになっています。



## [追悼] ヤーノシュ・シュタルケル氏

# 巨匠シュタルケル氏逝去

## 9月に追悼公演を開催

2013年4月28日、ヤーノシュ・シュタルケル氏はブルーミントンのご自宅でお亡くなりになりました。享年88歳でした。

インディアナ大学ジェイコブズ音楽院は、インディアナ大学特別名誉教授ヤーノシュ・シュタルケル氏の逝去を悼んで、9月22日(日)午後4時よりブルーミントンミュージックアートセンターに於いて追悼演奏会を行いました。

### チェロ協会とも深い親交

チェロ協会とシュタルケル氏とのご縁は1997年チェロ協会発足当初から始まっています。当時エヴァ・ヤンツァー記念チェロセンター(インディアナ州)所長でおられたシュタルケル氏は、チェロの発展に力を注ぐ先駆者として、チェロ協会に次のような激励のメッセージを送って下さいました。『…(前略)こうした協会の果たす役割は重要なものであり、特に私たちの主張や、チェロへの愛情、そしてチェリストの間の友情を深めるには必須であります。…(日本チェロ協会会報第1号より)』その後、1999年カザルスホール共催マスタークラス、続いて2001年チェロ協会主催マスタークラス、2005年神戸チェロ・コンGRESSと実に多くのイベントにお越し頂き、ご指導・ご出演頂きました。最後に、記憶に新しい2005年のコンGRESSでのエピソードをご紹介します。

### シュタルケル先生との思い出

まずは先生の経歴をひもときながら先生がどのような道を歩まれたのかを検証してみたいと思います。

今年4月28日米国インディアナ州ブルーミントン市で88歳の生涯を閉じられる迄50年以上もインディアナ大学で教鞭をとられ、世界中から集まって来た学生、生徒を—それもチェリストのみならずヴァイオリニストやピアニストを含めた—指導されました。先生は1924年の7月5日にハンガリーのブダペストで東欧系ユダヤ人の家庭に生まれました。お父上は腕の良い仕立屋さんだったそうです。二人のお兄さんがおられ二人共才能あるヴァイオリニストでした。6歳の時よりチェロを始めましたが最初のチェロの先生はかの有名なD. ポッパーのお弟子さんであったA. シーファーでした。でも音楽について非常に多くの事を学んだのは室内楽奏者のI. ヴェルトバウワーと作曲家のL. ヴァイナーからだったと機会がある毎に仰っていました。

1931年にブダペストでP. カザルスの演奏を聞き、師のシーファーより彼に紹介された事が先生の歩むべき道を決定付けました。そして1933年に聞いたE. フォイヤーマンの演奏は先生にとってチェロの音に対する考えの原点になるものを啓示して呉れたのです。1938年に初めてのオーケストラとの協演—それも6時間前に報らされただけ!—と、1939年のコダーイの演奏によって先生はプロとしての位置を確立されました。でもヨーロッパから始まった第二次世界大戦が演奏家としての約束された将来を台無しにしてしまいました。それどころかお兄さん二人を始め親族の何人かが命を落とし、先生御自身も強制労働収容所で働かされたのです。



シュタルケル氏と協会長

それは、1週間という長丁場の会期も後半にさしかかった頃でした。事務局は、国際チェロアンサンブル協会や日本チェロ協会をはじめとした様々な共催・協力団体から集まったメンバーで構成されていましたが、その頃には一つのチームとして堅い絆で結ばれていました。しかし、大きなイベント故に、予想外の事態が次から次へと発生し、およそ15人のスタッフは毎晩遅くまで作業を続けていたこともあって、心身ともに疲労が極限に近づいていました。その日の夜遅く、いつ終わるとも分からない明日のイベントの準備に焦りという空気が募っていたとき、突然事務局の扉が開き、コンGRESS事務局長の松本巧さんに伴われたシュタルケル氏の赤ら顔が覗きました。不意を突かれたスタッフを見渡し、シュタルケル氏は話し始めました。「あなた達は、こんな時間まで仕事をされているのですか…。本当にありがとう。今までのどんなチェロ・コンGRESSよりも、今回のコンGRESSは素晴らしく最高の経験です。あなた達がいるから、このような素晴らしいコンGRESSになったのです。心からお礼を言います。」それは、わずかな時間の語りかけでした。しかし、シュタルケル氏の言葉を聞いたスタッフはみな、疲労やいらだちを忘れ、温かな気持ちになったのでした。結局その夜も明け方まで作業は続きましたが、演奏家のために、そして音楽のために、精一杯出来ることをと、恐らくあの場にいたすべてのスタッフが思っていたことでしょう。それほどに、シュタルケル氏の言葉には、正味の感謝と(スタッフを含めた)音楽仲間に対する愛情の念を感じる事が出来たのです。

ここに、ご生前のご厚情に深く感謝するとともに、ヤーノシュ・シュタルケル氏のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

指揮者のA. ドラティの助けで1948年にアメリカに移住されダラス交響楽団の首席チェリストに就任されました。翌年ニューヨークのメトロポリタン歌劇場オーケストラの首席チェリストになられ、1953年にはシカゴ交響楽団の首席チェリストに就任されましたが、これには先生が生涯にわたって尊敬されていた指揮者のF. ライナーの存在が大きかったようです。1958年からはインディアナ大学で教鞭をとり始め、その頃からソリストとして国際的に活発な活動を始めたのです。技術的に最も完成されたチェリストだったと言って良いと思いますが、そのバックボーンとなっていたのは自由自在な運弓法、比類ないレガート奏法、そして完璧な音程と魅力あるビブラートを誇った左手のテクニックだったと思います。レコーディングアーティストとしてチェロ部門で最多のタイトル数を誇った先生ですが、中でもバッハの組曲、ベートーヴェンのソナタ、ブラームスのソナタ、コダーイのソロ・ソナタ、ドヴォルザークのコンチェルトなどが特筆されて良いでしょう。先生のヴィルティオージック

な小品集は他のチェリストの追隨を許さず垂涎的でした。私が留学した頃は「アイレスフォード」という名前が付いたA. ストラディヴァリウスでしたが、晩年はM. ゴフリラーとA. グアリネリウスのチェロを使用されました。

2004年には其の後日本語訳版も出た“The World of Music According to Starker”という自叙伝をIndiana University Pressより出版されました。また先生はチェリスト間の親睦をはかりチェロの発展、チェリストの活動の場を拡げる運動にとても御熱心でAmerican Cello Council(全米チェロ協議会)の一員としてブルーミントン支部を立ち上げられました。私達も当「日本チェロ協会」の設立、「神戸国際チェロコン

グレス」の際には様々な面で大変お世話になりました。

私が先生に最初にお目にかかったのは1960年の12月でした。先生にとって初めての来日でしたが、ブダペスト時代駐ハンガリー日本大使のお嬢様にチェロを教えたことがあったとかで、日本文化には大変興味を持っていらっしゃるようです。名ピアニストG.シュボック先生と素晴らしい協演をされましたが、やはり圧巻はコダーイのソロ・ソナタでした。私は斎藤秀雄先生と一緒に先生のリサイタルを聞きに行ったのですが、斎藤先生はシュタルケル先生の演奏から御自分がベルリンで師事されたE.フォイヤーマンの演奏法、音楽作り、(テクニックを含めての)にとっても似ていると感じられたようでした。それで早速会いに行かれシュタルケル先生と色々なお話をされたところ「自分自身はフォイヤーマンに習ったことが無いが自分の音楽的信条、チェリストとしてのアプローチの仕方はずっとフォイヤーマンを目指してきた」と仰ったそうなのです。それもあって私にとっての留学先は先生が教鞭をとられていたインディアナ大学しかない、ということになりました。その時はたまたま新婚旅行を兼ねていらしたこともあって、私のことを最初から何となく身近に感じて下さったのは私にとって大変ラッキーなことだったと思っています。

そうして勇躍ブルーミントンに向かったのですが、到着して見てびっくりした事が二つありました。第一はその町の空港です。このようなメジャーな大学があるのだからさぞかし立派な空港なのだろうと想像していたのですが、何とウモロコシ畑に囲まれた可愛い滑走路が一本だけあり、ターミナルビルとは名ばかりの山小屋みたいなものが建っているだけでした!そして数日後先生のお宅にお招き頂いたのですが、乗せて下さった先生の車が今では存在しないRamblerと云ういわゆるアメリカの大衆車だったのです。私はこのような高名なアーティストはキャデラック位に乗っているものだとばかり思っておりましたので内心ショックを受けました。先生の生活も質実剛健で、華美にわたらない所など先生の演奏に似ているな、と変な感心すらしたのです。

そしてレッスンが始まった訳ですが、先生は本当に一生懸命教えて下さるのに私の英語がそれに付いていけず、この頭の回転が飛び切り早い先生にとって相当な忍耐力を必要とさ

れたのではないかと今でも申し訳なく思っております。特に先生のように数か国語がぺらぺら喋れ、しかも言葉や言語にとっても興味のある方には私のようにゆっくりとしか上達しない学生に驚かれたのではないのでしょうか。でも先生の仰る事は一つも逃したくない、という気持ちもあって私はレッスンには必ずノートと鉛筆を持って行っていました。最初のうちは解る単語を書き留めていただけだったのですがその時のノートをあとで読み返し、復習してみると如何に先生が系統立てて一分の隙も無く、大事なことは全て教えて下さっていたのが良く解り本当に頭の下がる思いです。先生の方針の一つに演奏なり自分の考えをよりはっきり表現させるためにはそれを言葉や文章に出来なければならない、というのがありました。ですからレッスンに於いてでも私はチェロ演奏、音楽、芸術、文化などについて次から次へと喋らされたものです。これは後程私にとって大変ためになったものの、英語が自由にならなかった当時の私には死ぬ程の苦痛でした。

先生は表面的な事や安易な妥協が生活、音楽を問わずお嫌い、テクニックなども常に完璧さを要求されました。そしてそのためには自分がどこ迄自分に対して厳しく出来るかが問われました。先生の口癖は「自分が今何をしているか、出来るかを完全に識っていなければならない」でした。それ故練習方法も唯時間をかけるよりも時間を如何に有効に使うかが大事でした。そして「それが右腕であり左腕であっても不合理的な動きは自分の演奏家生命を短くするだけだ」というお考えから機能的なテクニックを徹底的に追及されました。でもユーモアに溢れ、ジョークを飛ばすのがお得意でしたし、先生のピンポンと同じで人をはぐらかしたり煙にまいたりしてしまうのも大変お上手でした。

最後に先生が仰った音楽の道を歩むために必要な四つの才能をお示しして拙文を終わりたいと思います。それは「音楽的才能」、「学ぶ才能」、「努力する才能」、そして「コミュニケーションの才能」です。実に多くの事を教えて下さった先生ですが、その教えを可能な限り生かし、広めて行くのが自分に託された使命ではないかと改めて肝に銘じております。

堤 剛

## 事務局からのお知らせ

### 会報誌記者ボランティア大募集

チェロサロン(11/16)、マスタークラス(11/20)のレポーターを募集いたします。経験は問いません。当日聴講可能でレポートをして下さる方、事務局までご連絡ください。

### 会員からの投稿大募集

「メンバーズ」では今後もチェロ協会会員の方の活動についてご紹介いたします。チェロに関する原稿、エッセイ、研究発表、近況報告、コンサートの感想などの寄稿をお願いします。自薦他薦問いません。

### コンサート情報大募集(チェロ協会HPに掲載可能な方)

会員が出演・主催するコンサート情報をお寄せください。  
①公演名②日時(開演時間)③会場④出演者⑤料金⑥曲目等⑦問い合わせ先⑧コメントをお書き添えの上、メール、FAXでお送りください。下記URLのフォームからのご提供頂けます。  
[http://celloday.cello-congress.com/?page\\_id=832](http://celloday.cello-congress.com/?page_id=832)

### 会員名簿の更新について(締切:2014年1月末)

今年度の名簿作成に当たり、既に提出頂いた個人情報に変更(削除を含む)がある方はご連絡ください。ご連絡がない場合は同じ情報をそのまま掲載・配布することに同意頂いたものとさせていただきます。新規で掲載及び配布をご希望の方は「会員名簿・同意書受取希望」とご連絡ください。(名簿の掲載及び配布には会員番号と氏名の掲載が必須となります)今年4月以降にご入会された方には同意書を同封しました。ご一読の上、ご希望の方はご連絡ください。

### ご住所・メールアドレス変更についてのお願い

ご変更された場合は必ず事務局にご一報下さい。

### ● 編集後記 ●

会報40号は、多くの会員の方にご協力を頂きました。お陰様で読み応えのある充実した内容となりました。お忙しい中ご協力を頂き、誠にありがとうございました。今後はHPと連動させながら作成していきたいと思っています。

日本チェロ協会会報(JCS NEWS)第40号 2013年9月26日発行

発行:日本チェロ協会

東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル22階 私書箱509号 電話 03-3505-1991 FAX 03-3582-1310

発行人:堤 剛 編集:日本チェロ協会事務局 編集協力:リュウカンパニー